

2025年6月26日

2011年度 社会情報学科卒
仲村 俊昭 様

目白大学同窓会
会長 渡辺 尚吾

【目白大学同窓会 2025年度総会 ご質問への回答】

平素より同窓会活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。また、この度は総会資料をご確認の上、詳細かつ建設的なご質問を多数お寄せいただき、心より感謝申し上げます。以下、ご質問に順を追って回答申し上げます。

《ご質問1》

総会に関する質問事項の公開方法・内容について

2024年度の総会において、質問者の氏名を公開したうえで、「質問内容を要約・抜粋して回答」されたかと思いますが、同窓生に対して質問の背景や意図が正確に伝わりませんので、質問事項については法的な問題等がない限り、「要約・抜粋せずに、全文を掲載（または読み上げ）」し、会員に共有いただきますようよろしくお願いいたします。

※質問者氏名を公開することが書面・配信での総会においても妥当かどうかはという点で疑念はありますが、私個人としては公開いただいてもかまいません。

《回答》

2024年度総会においては、質問の要旨と回答をまとめた形で共有させていただきました。2025年度はご意見を踏まえ、質問内容の全文掲載を前提に対応いたします。個人情報保護に配慮しつつ、ご本人が公開を了承いただいておりますので、氏名の掲載も含めて対応いたします。

《ご質問2》

「目白大学・目白大学同窓会連絡協議会」での協議内容・同窓会の回答を掲載してください。

「目白大学・目白大学同窓会連絡協議会」という会が作られた目的や、今後の同窓会がどうなっていくのかという点について、総会資料に掲載がないのは、同窓生に対して誠実さが感じられません。

協議会では大学と同窓会との間でどのような意見交換等があったのでしょうか？私も大学と同窓会とが協議されることは有意義であると感じており期待していますので、是非とも、協議内容が同窓会活動に反映されたものがあるのか否かを含めて、詳細について総会資料に掲載してください。

もし掲載できない理由があれば教えてください。

《回答》

同協議会は、目白学園第5次中期目標・中期計画に基づき目白大学が「ステークスホルダーとの関係を強化し意見を大学運営に反映する」という中期目標に設定されたアクションとして大学と同窓会との連携を深めることを目的として設置されたもので、これまでに「同窓会会費の徴収方法の見直し」や「協同事業の連携」などが協議されました。

詳細な議事録については、大学側との合意が前提となるため、今後公開の可否を含め検討いたします。

※添付資料参照

《ご質問3》

役員の任期について

2024年6月の総会資料では「任期：2024年度～2026年度（3年度?）」と掲載がありましたが、今回の総会資料では、「任期：2024年度～2025年度（2年度）」とあります。

正しい情報を教えてください。

《回答》

資料中に記載の齟齬につきまして、ご指摘ありがとうございます。会則上、役員の任期は「2年間」と定めております。2024年度総会資料の「2024年度～2026年度」は誤記であり、正しくは「2024年度～2025年度」です。お詫びして訂正申し上げます。

《ご質問4》

「同窓生の現状（卒業学科・男女比）」と「役員の構成」について

全同窓会員の声（要望）を組織運営に反映させ且つコンプライアンスの実現等、適正な組織運営を実現していくためには、組織運営の実際を担う役員の構成が会員の素性（出身学部、性別等）を反映したものであること、役員が多選を避け世代交代を図ることが肝要であると考えます。

このこと踏まえて以下の点についてご説明をお願いいたします。

- ① 同窓会会員約25,000人の男女比及び出身学部の比率について教えてください。
- ② 同窓会役員（会長、副会長、会計、幹事長を含む幹事）の男女比及び出身学部の比率を教えてください。

③ ①と②を踏まえて、現状の役員構成が望ましいか否かについて会長のご見解をお聴かせください。

④ 役員の大選制限の必要性の有無について会長のご見解をお聴かせください。

《回答》

① 大学同窓会システムの仕様上抽出できない為、内容については申し訳ありませんが回答できません。

② 議案資料の役員メンバーの出身学部のとおりです。

③ 現役員の構成については、出身学部に偏りがあることは否めず、今後の改善課題と認識しております。

④ 大選制限についても、今後の役員選出における検討課題として議論してまいります。また今後、代議員制の導入なども検討を予定しておりますが、現状組織の基盤強化をすることが優先課題と考えています。

《ご質問5》

会計監査の対応について

会則変更の目的が「監査体制の強化および会計の透明性を高めるため」とありますが、会則における「会計監査の選出方法（第9条）」を見ると、「総会において選任する」としか説明がありません。

① 過去の会計監査担当者の具体的な選出・専任の方法が不明です。どのように選出・専任されたのか、また、これからの“2名”の選出方法はどうなるのか、ご説明ください。

② もしもそれが、実際には内部の幹事から選出したり、元役員から選出されていたりというだけの閉鎖的な運用になるのであれば、目的を達成できないと思うのですが、どのような点を根拠として今回の対応を議案に挙げたのかご説明願います。

③ 外部機関への監査を依頼する方法もあると思いますが、検討はされましたでしょうか？未検討または、検討した結果“行わない”とした場合は、どういった理由でそう判断されたのかご説明ください。

《回答》

外部を含めた2名体制について、体制を強化してまいります。

正式に2名体制となるまでの当面の間、目白学園監事、公認会計士でもある、平山先生にご指導いただきながら、体制を整えてまいります。

① 会計監査は従来、幹事会の推薦に基づき総会にて選任しておりました。今後はより明確かつ公開性のある手続きを検討いたします。

② 内部関係者のみで選出されてきたことは事実です。今回の会則改正案はその反省を踏まえ、制度としての明文化を目指しています。

③ 外部監査の導入は一度検討しましたが、費用対効果等の観点から見送られました。今後とも検討の余地がある課題と認識しています。当面は目白学園監事の平山先生を第三者としてご指導を賜りながら運営をしていきます。

《ご質問6》

透明性を高めていくことについて、具体的な対応をご説明ください。

ガバナンス（組織の健全な統治・管理）及びコンプライアンス（法令順守）は、組織の健全な運営と永続的な発展に不可欠であることは申すまでもありません。

目白大学同窓会は決算書によれば**年間の会費収入が 3,000 万円超、保有資産が 3 億円を超える**までになっておりますので、とても大切なことだと考えます。

このことについての会長のご見解と、予算の適正執行及び不正防止に向けた実効性のある取り組みがどのようになされているのか具体的な説明をお願いいたします。

《回答》

年間予算・保有資産の規模を踏まえ、ガバナンス体制の強化は重要な課題と考えています。しかしながら現在の目白大学同窓会会費の学納金による代理徴収の意義、強制入会など従来の同窓会運営が継続できるかどうかの課題もあり永続的に現在の収入と資産が維持できるかどうか確約はありません。現状の資産規模を踏まえ 2025 年度からは、役員によるモニタリング体制の整備を進めていくと同時に、前途にもありますように、平山先生のご指導も仰ぎ、透明性を高めてまいります。

《ご質問7》

同窓会 HP での資料が非公開になっていることについて

同窓会 HP では「当ページでは今までの総会で使用した資料を PDF 版で閲覧できます。」と記載があり、2025 年の 2 月ごろまでは、ある程度の総会資料・決算資料などが掲載されていましたが、5 月以降からは HP 内の各所から資料が削除されていて、内容が確認できなくなっています。

同窓会の活動内容からして、それらの資料は公開されていても問題が無いと思うので、再度掲載・公開をお願いします。（前述の“透明性を高める”取り組みの一つにもなると思います。）

何か、掲載できない理由はありますか？掲載できないものがある場合は、その理由も回答願います。

《回答》

昨今の web サイトの検索エンジンによる情報公開配慮の観点から、今後事務局での問合せを対応を検討しています。

また、目白大学同窓会の総会資料や予算・決算書をホームページ（HP）で公開し続けることについて、Web 検索サイト（Google など）にインデックスされることによるリスクを以下の通り考えております。

以下、Web 検索サイトに公開することの主なリスク

① 情報の切り取り・誤用のリスク

- 検索エンジンにインデックスされることで、文脈を無視して一部情報が切り取られ、SNSなどで誤解を招く形で拡散されるリスクがあります。
- 特に「予算額」や「委託費用」などが、単独で取り上げられると批判的になる可能性が考えられます。

② 契約先・個人情報の露出

- 業務委託先の会社名や金額が記載されている場合、それが取引機密や個人の特定につながる可能性があり、第三者からの問い合わせや悪意ある連絡が発生する恐れがあります。

③ サイバー攻撃やフィッシングの誘発

- 大学名・組織名・役職名・担当者氏名などが組み合わさって掲載されると、フィッシングメールや標的型攻撃の材料となることがあります。

④ SEO 上の不要な露出

- 公開意図のない内部文書が検索上位に表示されると、本来アピールしたい活動や成果報告が埋もれることにもつながります。

以上の観点から5月以降にHP構成の見直しを行っており、一部資料の掲載が一時的に停止されておりました。ご不便をおかけし申し訳ありません。当面の間、気になる点がございましたら、事務局へメール等で問い合わせをお願い致します。

《ご質問8》

決算報告書・予算書：業務委託契約についての情報開示をお願いします。

例年、多額の業務委託経費が計上されていますが、2024年度の業務委託契約すべてについて以下の①～⑥をご説明願います。

【①業務内容、②委託先企業名、③契約金額、④相見積の実施の有無、⑤契約書又は請書の有無、⑥委託先決定の理由（なぜその企業に委託したのか）】

また、会員が契約書等の閲覧を希望する場合可能であるかお答えください。

不可の場合はその理由もあわせてご教示ください。

《回答》

2024年度の委託業務に関する件につきましては、総会資料にて会計報告として記載しております。

例えば、会報誌の印刷、発送業務、事務局の運営などそれぞれの項目ごとに費用を明記し

ております。

なお、委託先の企業名等の詳細情報は、契約上の守秘義務、本回答が web 掲載を行うことも考慮し web 検索上のリスクもあるため、原則非公開とさせていただきます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

もし、委託先の企業名、業務内容について、ご不明な点がございましたら、個別にご説明いたしますのでお申し付けください。

ただし、会員の皆様に安心していただけるよう、委託業務の概要及び支出金額については、総会資料にて収支報告という形で適切に開示しております。

同窓会としては、今後も引き続き透明性のある運営を心掛けてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

《ご質問 9》

同窓会行事の「同窓生」の参加人数を記載してください。

人数が不明の場合、掲載されている事業とかかっている予算とが妥当かどうか判断がつかみませんので、お手数ですが、桐和祭、桐榮祭、定期同窓会パーティの参加人数を記載してください。

《回答》

以下、2024 年度の実績です。

- 桐和祭：143 名
- 桐榮祭：40 名
- 定期パーティ：132 名

《ご質問 10》

決算報告書：イベント企画運営費において 200 万円弱の超過が発生した理由を教えてください。

《回答》

イベント企画運営費の超過は、同窓会パーティ開催によるものです。

《ご質問 11》

決算報告書における「事務局運営費」が 400 万円超 削減された理由を教えてください。

「30 周年誌」の製作を 2024 年度に行わなかったためでしょうか？

《回答》

事務局運営費削減は、30 周年誌の制作を始めていましたが、長期にわたるプロジェクトと

なっており、年度内でのお支払いをしなかったためです。

《ご質問 12》

予算案における「事務局運営費」が、100 万円超増加されている理由について教えてください。

「30 周年誌」の製作を 2024 年度に行わなかったために 2025 年度予算に計上したとして、100 万円超が増加する理由について教えてください。

《回答》

2025 年度の増加は 30 周年誌制作、発送費が主因です。

《ご質問 13》

積立している「周年行事」について教えてください。

周年行事のための積立金が、2024 年度決算時に 400 万円ありますが、こちらは今回の「30 周年誌」制作には使用しないのでしょうか？ここ何年かの総会資料を見ても、具体的な周年事業への取り組み・幹事会議事内容にも情報が無いので、何周年を目的とした積立金なのかを明確に教えてください。

《回答》

周年積立金は、現在、同窓会では将来的な節目（40 周年や 50 周年など）に備え、記念式典・広報活動・記念品作成等にかかる費用の一部を長期的に準備する目的で、「周年事業積立金」として毎年度一定額を計上しております。これは、突発的な支出やその時点での会費負担を抑えるため、計画的な備えとして行っているものです。一方で、現在進行中の「30 周年記念誌」につきましては、別途特別予算を編成し、その事業費に充てております。したがって、同記念誌制作には「周年事業積立金」は使用しておらず、あくまで将来の周年事業等のための積立金は引き続き保全しております。

《ご質問 14》

決算報告書における「学園祭協賛・企画運営費」の費用内訳について説明して下さい。昨年度の総会の際、当該予算の 300 万円の使途の大半は郵送費用であったとの説明がありましたが、2024 年度も同様の郵送等を行っていたかと思います。ですが今回は、合計で 140 万円程度に削減されています。具体的にどんな内容・費用が削減に寄与したのか説明願います。

《回答》

2024 年度は、実施を予定していた一部の発注や委託業務が最終的に見送りとなり、請求

に至らなかったものや、学園祭とパーティーの各お知らせを、年度当初は別々に発送する形で考えておりましたが、2つを統合したため、結果的に予算を抑えることができました。

《ご質問 15》

旅費交通費の詳細を説明してください。

昨年同様「旅費交通費」が60万円近く使用されています。総会資料として交通費詳細を公開ください。

《回答》

旅費交通費は下記の通りとなります。

- 幹事の交通費
- 大学祭運営スタッフ（ボランティア）の交通費

また、支払いについては、別添の細則を根拠に支払いを行っております。

《ご質問 16》

総会の案内はがきの到着が遅いので、発送スケジュール・方法、総会開催方法の改善をしてください。

総会審議の回答締切が6/25とHPに記載がありましたが、6/25朝時点でハガキが未着です。

youtube等で取材しているように、沖縄等の遠方の同窓生も多くいることと推察いたしますので、そういった方には、はがきの到着が間に合っていないのではないかと思います。

（関東圏の友人いわく、22、23に着）届いたとしても回答までの時間が無く、意味のある正当な総会が行われな可能性が高いと感じます。そもそも「発送が遅れたために、未着の同窓生がいる」となった場合、総会自体が成り立たないと思うのですが、発送スケジュール・方法、総会開催方法の改善について、会長の考えを回答してください。※HP上にも決議フォームが掲載されていませんので、承認可否も回答できません。

《回答》

このたび、一部地域において、ハガキの到着が当初の想定より遅れるケースが確認されました。今回の印刷・発送は下記スケジュールにて進行しておりました。

【印刷・発送スケジュール】

6月4日（水）AM：宛名リスト・印刷データ入稿

6月6日（金）AM：校了

6月9日（月）：印刷・宛名作業開始

6月17日（火）：郵便局へ持ち込み

6月18日（水）：郵便局にて整理・発送処理開始

このスケジュールに基づき、6月20日（木）～21日（金）頃までの配達を見込んでおりましたが、実際には6月24日（月）～25日（火）頃の到着となった例が複数確認されております。

郵便配達における近年のスケジュール変化（特に週末を挟んだ処理の遅延や、地域間の移動にかかる日数増）を踏まえ、今後はさらなる余裕を持った発送スケジュールと対応が必要であると考えています。

一方で、今回あらかじめ予定していたLINE公式アカウントおよび各種SNSでの並行告知が功を奏し、ハガキ到着前にも多くの方に周知ができたことで、回答数は昨年を大きく上回る結果となりました。

■ 今後の対応方針

郵送物は、より余裕をもったスケジュールで手配、告知は郵送に頼りすぎず、LINE・SNSなどを組み合わせた多層的な周知を基本運用とします。

今回の結果を踏まえ、回答促進の仕組みをさらに強化してまいります。

ご不信の念をお持ちになったことを改めてお詫び申し上げるとともに、今後のより確実な運営体制に反映してまいります。

《ご質問 17》

総会議案への理解を深めるために、役員会の議事録を請求しましたが、公開・提供がされません。

25日の審議回答締切に向けて、役員会の議事録について6/19にメールにて請求をしましたが、25日朝9時時点で公開・提供をいただけておりません。（メールに併記した別件へのやりとりは返信いただいているので、メールの未着・エラー等ではありません）

適切な対応・情報公開がされないという状況は、役員会と同窓生との間に大きな不信感を生みます。

その不信感は、同窓会/同窓生/日白大学との信頼関係・協力関係を損なう可能性をはらんでいます。

その場合、会則第3条および第4条で定める大学同窓会の目的や事業内容に対する、「目的の違反や妨害行為」に該当し、役員ないしは役員会は、会則第6条（会員の除名）第2項または3項、第10条（役員任期）第4項に抵触することも十分にあるかと推察いたします。

前述の「総会のハガキが届かない・回答手段が無い」ということも同様に、妨害行為に相当する可能性があるかと思いますが、その点も含め、以下2点について会長のお考えをご説明ください。

①議事録の公開・提供が行われない理由をご説明ください。

②役員ないしは役員会が、「目的の違反や妨害行為」を行っているという認識があるか否か。

その理由と併せてご説明ください。

《回答》

目白大学同窓会の総会議案に関する議事録の情報開示について、ご不安・ご不信の念を抱かせてしまいましたことを、まず心よりお詫び申し上げます。

ご指摘のとおり、6月19日にいただいたご要望に対し、議事録のご提供が6月25日朝のご確認時点では完了していなかったことは事実でございます。ただし、その後ではございますが、議事録はすでに提供させていただいております。

提供が遅れた理由につきましては、役員会における議事録内容の確認・整備に想定以上の時間を要したこと、ならびに同時並行で進行していた総会対応業務との兼ね合いで、事務局としての対応が後手に回ってしまったためです。結果として、会員の皆様の大切な判断の機会に影響を及ぼしたこと、重ねて深くお詫び申し上げます。

① 上述の通り、対応に時間を要してしまった結果、公開・提供のタイミングが遅れてしまったことが実情です。意図的に開示を拒否したのではなく、確認作業・体制上の不備に起因するものであります。今後は、開示タイミングを含めたスケジュール管理の徹底を図ってまいります。

② 本件につきまして、同窓会役員および事務局として、目的に反する意図的な妨害行為を行った認識は一切ございません。

ただし、会員の皆様がそのように受け止めざるを得ない運営となってしまったことは、真摯に受け止めております。会則に定められた「会員の交流促進・母校との連携強化」という目的を実現するためにも、より丁寧で信頼ある情報提供体制を整える必要があると痛感しております。

今後は、ご指摘を真摯に受け止め、再発防止と運営の透明性向上に努めてまいります。引き続き建設的なご意見を賜れますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上